



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レジデンシャル常盤台増築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市保土ヶ谷区常盤台239番3~5、13~17	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 竣工	評価の実施日	2019年10月15日
敷地面積	2,503㎡	作成者	(株)アップルズ総合計画
建築面積	745㎡	確認日	2019年10月15日
延床面積	2,382㎡	確認者	(株)アップルズ総合計画



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
既存樹木を一部保存し、敷地形状を生かした計画。		
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆建材をほぼ全面的に採用するだけでなく、高い自然換気性能をもち、全館禁煙とするなど、空気質環境に十分に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 全室10㎡以上の個室とし、快適性の高い計画。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行い、施設利用者が自然に親しめる遊歩道を計画している。植栽計画により良好な景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明設備など、高効率設備の採用により省エネルギーに配慮した計画。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロン断熱材を採用し、汚染物質含有材料の使用を回避している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明を設置せず、周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

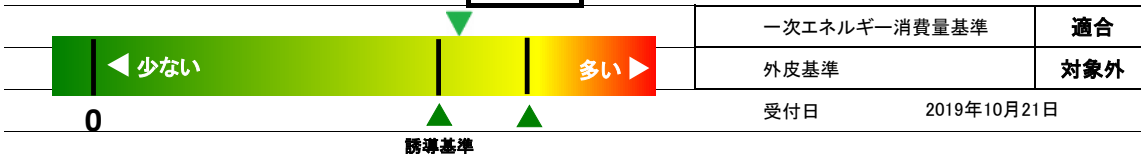
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 レジデンシャル常盤台増築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 15 %削減



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI<sub>m</sub>=0.79

③BEI<sub>m</sub>=0.85

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩500lx以上1000lx未満の照度

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫個室10㎡/床以上で、多床室の計画なし

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 4

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する

⑯劣化対策等級2相当

⑰通信網の多様化、精密機器の地下室への設置を避けている、CS/BSIにより災害情報入手可能、停電時用電話機の設置

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱敷地条件に合った緑地計画し、併せて建物利用者が自然に親しめる遊歩道を計画。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

レジデンシャル常盤台増築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境										2.8
1 音環境				2.6	0.15	2.2	1.00			2.4
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				3.0	0.40	2.0	0.40			-
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	1.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00			2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43			-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境				3.2	0.25	3.3	1.00			3.2
3.1 昼光利用				3.4	0.30	4.2	0.30			-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.60	5.0	0.60			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	0.15	1.0	0.15			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気質環境				3.9	0.25	4.1	1.00			3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.30	4.3	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	5.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.9
1 機能性				2.4	0.40	3.8	1.00			2.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.6	0.30	-	-			3.6
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	4.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.5	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	-	-	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.25	-	-			-
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.25	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.25	-	-			-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	5.0	0.25	-	-			-
3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.4	1.00			2.5
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.8	0.50			-
1 階高のゆとり				1.0	0.60	1.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
レジデンシャル常盤台増築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
								<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	-	3.0	
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.5	0.30	-	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	-	3.2	
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	-	3.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	-	2.7	
<b>4 効率的運用</b>				2.5	0.20	-	-	-	2.5	
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		2.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	-	3.4	
<b>1 水資源保護</b>				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				3.6	0.60	-	-	-	3.6	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>				3.5	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	-	3.2	
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				3.4	0.33	-	-	-	3.4	
<b>2 地域環境への配慮</b>				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				3.0	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.2	0.33	-	-	-	3.2	
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動				-	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				4.4	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>上記以外の重点項目</b>						-	-	-	-	
<b>&lt;事務用途&gt;</b>						-	-	-	-	
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-	-	
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>						-	-	-	-	
<b>健康と安心</b>						-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-	-	